

感染状況・医療提供体制の分析(3月22日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細
➡



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (3月15日時点)	現在の数値 (3月22日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	749人 (39.9人)	598人 (31.9人)	➡	感染状況コメント レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている 陽性者は <u>人口10万人当たり31.9人</u> と減少傾向継続。季節性インフルエンザ注意報発令中。全国的に感染縮小も、年度替わりは、感染リスクが高まる場面が多い。免疫の減衰、変異株の置き換わり等が今後も感染状況に影響を与えていくと思われる。マスクは個人の判断となったが、医療機関や高齢者施設訪問時に感染を広げないため、重症化リスクのある方が感染から身を守るため等、状況に応じたマスクの適正使用が必要となる。
		60歳以上 (総数に占める割合)	213人 (28%)	141人 (24%)	➡	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	301人	217人	➡	
		倉敷市保健所	112人	107人	➡	
		備前保健所	50人	31人	➡	
		備中保健所	105人	78人	➡	
		備北保健所	8人	21人	➡	
		真庭保健所	36人	45人	➡	
美作保健所	101人	59人	➡			
その他	36人	40人	➡			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	72人 (12%)	59人 (9%)	➡	医療提供体制コメント レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる	
	④宿泊療養者数	14人	4人	➡	感染者数減少を受け、入院患者数も減少。医療提供体制としては落ち着いている。	
	⑤自宅療養者数	730人	520人	➡		
	⑥重症者数	2人	2人	➡		